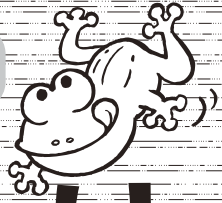


かじかのさとだより

第33号



発行/〒889-2401 日南市北郷町大藤甲3186番地1/TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739
社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



楽しい
デイサービス
の一日

生活リハビリ風景

○生活リハビリ

活動の一つとして、生活リハビリを行っています。今回は、じんべいと手ぬぐいを使って衣服の着脱をしています。着替えが終わると思わず楽しくなって、「チヨチヨイのチヨイ」と踊りと歌がはじまりました。



○足湯(くつろぎタイム)

足湯でおしゃべりが、弾んでいます。足元から温まり心まで優しい気持ちになるようです。お互いに楽しくて楽しくてずっとお話に夢中です。感想を聴くと「夜ぐっすり眠れて、マヒ足の動きも良くなる」との声がきかれました。

○桜の木の前でパシャ

クレヨンや色えんぴつを使って色をぬったり、ちぎり絵をしたりして様々な桜の花を作りました。桜の花の形にハサミで切った物を紙に書いた木に貼り、一本の桜の木が完成しました。

○こいのぼり

創作活動にて天井に飾ってあるこいのぼりを見ながら、自分達で思い思いの色をぬりました。ハサミで切り取り丸い形にしました。そして同じ様にならないで手作りのこいのぼりができました。



今回はデイサービスでの活動の一部を紹介しました。現在の生活を維持する為に機器を使った足腰の運動や温泉浴、食事、交流など皆様の目的に合わせて楽しまれています。

私の想い田



稲倉 スミエ様

まだ若かりし頃、ご主人と中国へ渡られたそうです。政府の仕事をしていたご主人と子どもさんと、戦時中で在りながら「とても良い暮らしをさせてもらいました。」と、遠くを見つめながら、しみじみと語って下さいました。



岩倉 一様

アルバムを手語に語ってくださった一さん、霧島のあるホテルでの思い出の一枚。友人から突然の紹介で旦那様と一緒に仲居として数年間働いていたそうです。宿泊に来たお客様の事と一緒に汗水流して働いた同僚との思い出を懐かしそうに話して下さいました。



倉岡 マサエ様

北郷町の倉迫で助産院を営まれていた頃の話をして下さいました。独学で勉強し免許取得までの苦労話や、自転車で往診をしていた事等、話は尽きませんでした。千人近くの出産に立ち会い皆元気な産声をあげた事が一番心に残っているそうです。「親の姿を見て子は育つ。」最後に強く語られました。

家族面会のニコマ

中嶋信雄様の御家族の面会の様子です。奥様や御孫さんに囲まれて、楽しい時間を過ごされました。



中嶋 信雄様

朝のラジオ体操



朝のレクリエーションは、十八年も続いており日課となつていきます。スタッフの挨拶から始まり、全館にラジオ体操の音楽が流されスタッフも一緒に体操を行います。次に園歌「心の花」を皆で唄います。歌詞カードを見なくても覚えていらつしやる方が多く、お腹の底から声を出し唄われます。一日の行事の説明や誕生者の紹介も行い「ハッピーバースデー」の歌を唄いお祝いもしています。最後は「今日も一日頑張りますよう！」の掛け声の三唱で一日が始まります。



五月の節句

五月の節句に向け、食堂ホールの窓際とベランダに小さな鯉のぼりが沢山飾られました。春のそよ風に泳ぐ鯉のぼりは気持ち良さそうです。利用者の皆さんの目にも止まり「可愛い鯉のぼりやね。」と眺められています。季節や行事に応じた飾り付けに皆さんとても敏感な様です。



ドライブ

三月二十六日に、花立公園へドライブに出掛けました。当日は晴天に恵まれたのですが、肌寒い風が吹いていた為皆様の体調に配慮しドライブのみとなりました。しかし、車内から見える満開の桜に拍手や感動の声が上がりが大変喜ばれ、満喫して頂けた様です。



百二歳お祝い

大和コヨ様と福岡ウラ様が春、弥生にめでたく百二歳をかえられ、北郷町よりお祝いを受けられました。

明治、大正、昭和、平成の御代を力強く歩んでこられたお二人には、ぜひ長寿日本一を目指して頂きたいと思ひます。又、利用者の皆様には、お二人を目標に元気で長生きをして頂きたいと願ひます。おめでとつございました。





古谷 フデヲ様

「母」

明治四十五年七月二十三日生まれの母の生き方をお話し致します。母は十四歳で養女として、松浦家から古谷家へ来まして十九歳で父信士と結婚して男四人、女三人の子供を育てました。

戦時中、父が入隊した時は三男の信泰を身ごもっていったようです。終戦後は父母で田んぼ一町歩の農家でした。野菜を作り、毎日のように峠の県道をリヤカーを引いて飢肥へ野菜やみかんなどを売りに通いました。内之田からは十台くらいのリヤカーが飢肥へ行きました。帰りに

は、ヤマイチから食品などを買ってきました。年を取って病院など行くようになってからは、リュックと手さげに自分で作った玉葱などいっぱい入れて、汽車にのって油津のおばの所や友達の家へ持って行くのが楽しかったようです。

母が河鹿の里へ入所したのは平成十五年の七月でした。家族の人が来るとニコニコして喜んでくれましたが、十九年十二月には食事が出来なくなり風田の病院へ入院して、胃ろうの手術をしてもらい一言も言葉が出ない母です。

スタッフの方々には、本当にお手数をかけますがよろしくお願い致します。母は子供七人、孫十九人、曾孫二十五人、玄孫一人の母です。

古谷 義紀(息子)

担当職員より

お家の話題でかすかに、お返事を下さる時があります。御家族の方に届けたい喜びです。優しいお声をまだまだ沢山、聴かせて下さいね。



高橋 義鳥・ヨネヤ様

「父へ」

父は明治・大正・昭和・そして平成二十一年の年を河鹿の里で穏やかに過ごしております。優しいさと思いがりのある父が、今なお笑顔で向かえてくれる事がいとおしくもあり心から『有難う』と言えます。

一日々を大切に過ごして下さい。

「母へ」

母は歴史に詳しく今も教えてくれます。躰は小さくも心は広く私の一番の話し相手です。

これからも父に負けない位長生きして、河鹿の里で、楽しく過ごして下さい。

『大好きです』

川添 文江(娘)

担当職員より

耳元で声掛けをすると、細い目を開け笑顔で「ハイ!!」と返事を返して下さいさる義鳥様

「犬も歩けば」：「棒に当たる」とことわざの声掛けに即答されトンチのきくカヤ様
これからもお二人仲良くお過ごし下さいね。



山下 子ヨ様

「子ヨちゃん」

高校を卒業してすぐ上京した僕は二十七歳で結婚し帰郷したのは三十一歳の時でした。その頃の母は四人の子供もそれぞれ送り出し、仕事ひと筋の父をささえ田や畑を耕し、花々をこよなく愛

し、元気いっぱい母でした。父の希望で九州の地で産声をあげた次女。

三人の孫の子守をしながら、父が他界するまでは、裁縫も上手で手先の器用な母でした。その後だんだん気力も衰え年と共に母の背中がまるくなっていくのを感じようになりました。

病気と怪我をきっかけにこちらにお世話になる事になりましたが、今の母は元氣を取り戻し、これもひとえにスタッフ皆さまのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

折々園内に展示してある母の作品を見ながら「子ヨちゃんまだまだやれるじゃない」と母をほめてあげ、少しでも前向きにやる気を出してほしいと願う次第です。わがままな母ですがこれからもどうぞよろしくお願ひします。

山下 晃弘(長男)

担当職員より

眼鏡をかけられた姿の通りとても知的な山下様。絵画に書道、手芸にと創作意欲満々で頑張っていていらっしやいます。これからも沢山の作品を見せて下さいね。



認知症講演会



こんにちは、日南市北郷地区地域包括支援センターです。

現在、ここ北郷町地区では人口四、八九四人、うち六十五歳以上の方の高齢化率が三三・二七%で約三人一人が六十五歳以上の高齢者にあたります。

今後、高齢化率の上昇とともに認知症の方や介護を必要とする方々が急速に増加することが見込まれ深刻な問題となる恐れがあります。そこで、今回(旧)北郷町と共同で認知症の講演会を開催いたしました。

講師に、「認知症の人と家族の会」宮崎県支部代表吉村照代先生、体験発表として同会の池田京子様へ依頼。会場

は北郷町ふれあい交流センターで、参加対象者として、北郷町民、町内にある一般企業及び福祉団体へ案内し、当日は一八六名の参加がありました。講演の内容もわかりやすく、体験発表として、実際に認知症の母親を介護した苦労話もあり、「とても勉強になりました」との声をいただきました。

お弁当、お惣菜、パン、生菓子など、いわゆる生もので期限をすぎると腐敗などにより食中毒を起こす恐れがあることを知らせています。買い物時には消費期限をよく確認して購入後期限のすぎたものは、思いきって捨てるなどして、食べないように表示をきちんとチェックするようにしましょう。

厨房だより

「消費期限」と「賞味期限」はちがいます
要注意です!!

食中毒を防ぐために気をつけたいのが「期限表示」です。生鮮食品だけでなく加工食品全般についても、「いつまで食べられるのか」という期限を表示することが義務づけられています。あまり日もちのしないものには「消費期限」、日もちのものには「賞味期限」、品質保持期限」という用語が使われています。特に気をつけて期限を守ってほしいのが消費

嘱託医変更



矢野先生

長年、河鹿の里の嘱託医として診察して頂いた戸倉修先生に変わり、矢野光子先生に本年度より嘱託医として来ていただくことになりました。これからもよろしくお願い致します。戸倉先生には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

ホームページ

河鹿の里では、平成十九年十一月よりホームページを開設しております。各事業所についての説明、利用料等が

★ホームページアドレス

http://www.aisenkai.jp/

社会福祉法人 愛泉会

検索

↓
↑
でみることもできます

掲載されています。また施設で行われた行事等の写真風景も載せていますので、機会がありましたら、是非ご覧下さい。

新人スタッフ紹介



時任 理恵さん

一日でも早く職場に慣れ、諸先輩方の御指導の元、業務をマスター出来る様に一生懸命頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

先輩より

時任さんは、宮崎福祉医療カレッジを卒業した介護福祉士です。利用者の皆様に信頼される職員を目指して頑張ってくださいと思います。

職員異動

清風園から河鹿の里



橋原 智美さん

今回の異動で、河鹿の里に勤務する事になりました。清風園で学んだ数多くの事を忘れず、初心に返り一つ一つ地道に、頑張っていきたいと思っております。

河鹿の里から清風園



河野 孔美さん

四月より清風園へ異動となりました。ここで学んだ事を清風園で活かして頑張っていきたいと思っております。皆様今まで本当に有難うございました。

編集後記

経済状況も快い情報が聞かれないまま新年度をむかえてしまいました。新スタッフと共に又新たな気持ちで業務に取り組んで参ります。